

2025年度
八戸学院大学
健康医療学部 人間健康学科
学校推薦型選抜

小論文

注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かない。
- 2 筆記用具は黒色の鉛筆またはシャープペンシルを使用する。
- 3 問題冊子に印刷不鮮明、ページの落丁などがあるときは、手を挙げて監督者に伝える。
- 4 問題冊子の余白等は適宜利用してよい。
- 5 問題冊子は持ち帰ってよい。

以下は、2024 年 3 月 30 日付、NHK ニュースの記事『読書感想文コンクール AI 生成文章を不適切引用で審査対象外に』の全文である。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

読書感想文コンクール AI 生成文章を不適切引用で審査対象外に

小学生から高校生まで多数の応募がある読書感想文の全国コンクールで、今年度、AI が生成した文章を不適切に引用するなどした応募作品が少なくとも 10 以上あり、応募要項違反で、審査の対象から除外となっていたことが分かりました。

コンクールの主催側は、「不適切な使い方をしているのはほんの一部だと考えている。AI の使用が全面的にだめだというわけではなく、自分のことばで書くという読書感想文の本質を担保したままどのような活用が可能なのかも今後は検討していきたい」としています。

「青少年読書感想文全国コンクール」は半世紀以上の歴史があるコンクールで、全国の小学校や中学校、高校を通じて、作品を応募しています。

主催する「全国学校図書館協議会」によりますと、今年度はおよそ 260 万の応募があったということですが、学校側が地区の選考会に推薦する作品を選ぶ段階で本人以外が書いたと思われる作品が複数見つかり、このうち本人が「*生成 AI を使った」と認めたものが 10 以上あったということです。

協議会は AI の悪用の懸念などから、今年度から、コンクールの応募要項に「盗作や不適切な引用等があった場合、審査対象外になることがある」とする規定を設けていて、これらの作品は、審査の対象外となりました。

一方で、生成 AI の活用は、文章の校正に利用したり、アイデアを深めたりなど、教育的な効果も期待されていて、協議会では「AI の文章をそのまま使うなど、不適切な使い方は認められないが、実際にそうした使い方をしているのはほんの一部だと考えている。AI の使用が全面的にだめだというわけではなく、自分のことばで書くという読書感想文の本質を担保したままどのような活用が可能なのかも今後は検討していきたい」としています。

*生成 AI：あらかじめ学習したデータをもとに、画像・文章・音楽・デザインなどを新たに作成する人工知能（AI）の総称。生成系 AI。自動生成 AI。コンテンツ生成 AI。ジェネレーティブ AI。

（出典：NHK 公式 web サイト『読書感想文コンクール AI 生成文章を不適切引用で審査対象外に』<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240330/k10014407321000.html>）

【問題】

この記事において、「読書感想文」とはどのような文章と考えられているか。文中の言葉も用いつつ簡潔に述べよ。また、そのような文章は生成 AI には書けるだろうか、書けないだろうか、考察せよ。その際、人間と生成 AI との様々な違いにも触れながら、論拠も含めて 600-800 文字程度で論じなさい。